

環境フットプリント原単位データベース (ver.1)の公開について

東京都市大学伊坪徳宏研究室

2013年6月4日

趣旨

東京都市大学伊坪研究室では、環境フットプリントを計算するためのインベントリデータベースを開発しました。約400部門を網羅した本データベースを用いることで、環境フットプリントやLCA(ライフサイクルアセスメント)をより容易に実施することを可能にします。

データベースの概要

化学物質数

354

部門数

403

データの種類

化学物質排出原単位

化学物質の排出量の総量を指します。たとえば、化学肥料を生産するときに排出される化学物質(直接排出)と化学肥料の生産に投入されるエネルギーなどを生産する際に排出される化学物質(間接排出)の和に相当します。化学物質排出原単位は排出先(大気排出、公共用水域、土壌、埋立)別に原単位を示しています。

直接化学物質排出負荷

各産業部門で直接排出される化学物質を各産業部門の国内生産額で除した値を指します。

データベースの作成方法

産業連関分析法を用います。同分析を利用することで、対象製品を生産するまでに排出される化学物質を算定することができます。つまり、生産のほか、生産に利用される際に投入される材料やエネルギー等を生産するまでに排出される化学物質も含めています。計算は「 $(I-A)^{-1}$ 」であるため、海外生産分は国内で生産したものと同一として仮定しております。

単位

金額(生産者価格)あたりで排出量(kg/百万円)

免責事項

- 1 本原単位の利用に関して利用者又は第三者に生じた損害については、事由の如何を問わず、利用者がその全ての責任を負うものとします。
- 2 本原単位をダウンロードする際に、通信回線のトラブル等、利用者には何らかの障害が生じても、開発者及びセンターは一切の責任を負わないものとします。

以上